



学校教育目標 夢に向かって学び鍛える心豊かな生徒 -夢・学・恕-

令和6年10月1日発行

〒369-0112 鴻巣市鎌塚550 tel : 048-548-0081 fax : 048-547-1471

ホームページ : <http://fukiagekita-j-konosu.edumap.jp> E-mail : fukiagekita-j@city.konosu.ne.jp

## 行事 再考 (最高)

吹上北中学校長 丸岡 聖典

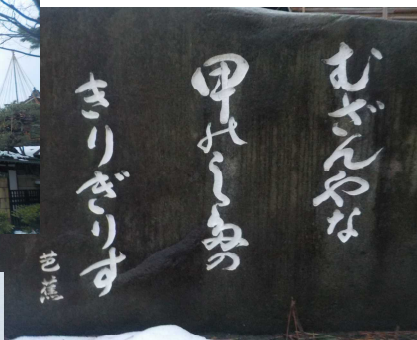
9月体育祭は大成功のうちに終わりました。生徒達の躍動はもとより地域の方々や保護者の皆様の歓声、教師とPTA役員との協力。年に一度、賑やかな土曜日でした。

何のために行事を行うのか？もう一度問い直してみました。

- ①生徒が主体となって自立に向かう場とする。
  - ②普段の授業では味わえない「体験」や積み上げた練習の達成の場とする。
  - ③生徒（お子さん）の健やかな成長を皆で確認する。
- つまり、生徒の成長に欠かせないものであり、地域の方々とともに分かち合うものであり、それを我々教員が支えるものだと再確認しました。

亡くなられた音楽家の小澤征爾（1935～2024）さんは、若い頃ヨーロッパに留学し武者修行の「体験」をして、いろいろな人から力をもらい影響を受け、生涯音楽家として生き抜きました。最期まで音楽の楽しみや喜びを人々に伝えました。

若い頃の「体験」はいつまでも心に残ります。いや、若い柔らかい心だからこそ「体験」を受け入れ、自分のものにできるのです。子どもは少々わがままでも、いつかは何かを返してくれる大人になるはずです。そのとき、一緒に喜んだり悔しがってくれた先生を、みんなと一緒にいた中学校を思い出してくれればいいのです。



むざんやな  
甲の下の  
きりぎりす

おくのほそ道 紀行 その二十七  
小松く…石川県  
一行は金沢に逗留後、小松に向かい「多太神社」に参拝します。ここには源平の戦いで、木曾義仲が奉納した斎藤実盛着用のおりがあります。この俳句にはかつて命を救った義仲を敵として戦うことになった実盛、その恩人を討たなければならなかった義仲、二人の武将の劇的な再会に対する芭蕉さんの深い同情が込められています。